

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスときわ教室（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日 ~ 2026年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日 ~ 2026年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援による質の高い療育トレーニング 保護者がトレーニングを見学するスペースがあり、保護者への療育の理解を深めることができる施設である。	子ども一人一人の課題や保護者の意向に沿った療育プログラムを作成している。 学齢別のプログラムの実施。 未園児に対しては、集団行動に慣れるための小集団によるプログラム。年長児童に対しては、就学準備のために文字や数字の勉強を取り入れたプログラムなどを実施。	協調性運動障害の改善のために開発された、運動療育器具を活用して、運動療育を実施している。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別支援の療育のため、長時間の療育を実施することが難しいため、令和6年度の報酬改定による、療育時間に対応した報酬体系において、事業所運営が厳しい状況である。	個別療育のためのプログラムの作成や報酬改定による従業員の負担増に対しての対策が必要	健全な運営のためには、専門的支援加算体制や専門的支援実施加算などの加算を取ることが最善と考えられる。しかし、さらなる従業員の負担増となるため、AIなどITの導入により日々の業務改善の工夫などが必要と考えている。
2			
3			